

90周年記念展

市制施行

90

周年

今月は、岡谷市制施行90周年を記念して、現在、岡谷蚕糸博物館にて開催している記念展の展示品を紹介します。

「シルク岡谷」と呼ばれた製糸業の歴史が、いまの岡谷市へとつながっています。この展示を機に、90年のあゆみをたどってみてはいかがでしょうか。



4年ぶりの 原画展示

岡谷市鳥瞰図^{ちようかんず}は、岡谷市役所を中心に、昭和11年当時の岡谷の風景が描かれています。製糸工場の煙突が林立し、最盛期には200工場が立ち並んでいました。岡谷駅、銀行、郵便局など、産業を支えるインフラも整備され、糸都岡谷として発展した当時のようすを物語る貴重な資料となっています。

この原画を元に、岡谷市観光パンフレットが作られました。表紙には、錦絵「東京築地舶来ぜんまい大仕かけきぬ糸を取る図」を使用。裏面に岡谷市鳥瞰図と岡谷市全図が記載されています。



岡谷市観光パンフレット(昭和11年)

吉田初三郎プロフィール (1884-1955)

明治17年、京都府に生まれる。日本全国の名所をスケッチしてまわり、鳥瞰図の絵師として活躍。生涯に3000点もの鳥瞰図を作成し「大正の広重」と呼ばれました。

岡谷市は、市制施行90周年という大きな節目の年を迎えました。この記念すべき年に、「岡谷市制施行90周年記念展」を開催いたします。周年ごとに作られた記念品を市民の皆さんからお寄せいただき、90年という歳月を皆さんとともに振り返る、またとない機会です。

これまでの歩みをしっかりと受け止め、そこから学んだ知恵と誇りを次の世代へとつなぎながら、市民の皆さんとともにこれからの岡谷を築いてまいります。

岡谷市長
早出一真



記念展によせて

特集1



岡谷市制施行

会期	開催中～10月12日(月・祝)
会場	岡谷蚕糸博物館(シルクファクトおかや) 企画展示室
開催時間	午前9時～午後5時(製糸工場は午前9時～正午、午後1時～4時)
休館日	毎週水曜日、祝日の翌日(9/22、9/23は開館)
入館料	一般530円、市内の小中高校生は無料



岡谷市鳥瞰図(原画) 吉田初三郎(昭和11年)

記念イベント

講演会

「岡谷の歴史と現在から
岡谷の未来を展望しよう」

講師：小林博(生涯学習課 市史編さん室)

日時	9月12日(土) 午後1時30分～2時30分
場所	岡谷蚕糸博物館(きぬのひろば)
定員	30名(要事前予約)
参加費	無料
申込み	岡谷蚕糸博物館 TEL 23-3489

旧岡谷市役所庁舎見学会

「旧岡谷市役所庁舎の歴史にふれる
ワークショップ」

旧岡谷市役所庁舎の見学の
後、1階事務室の床塗装を
体験します。



日時	10月10日(土) 午前9時～正午
場所	旧岡谷市役所庁舎
定員	30名(要事前予約)
参加費	無料
申込み	岡谷蚕糸博物館 TEL 23-3489

※汚れてもよい服装でお越しください。

岡谷市制施行を祝う記念品や資料を
展示しています

すずり 硯箱・文鎮

昭和11(1936)年制作 個人蔵・岡谷蚕糸博物館蔵

岡谷市制施行を記念して、市内の学生や学校関係者へ配布されました。硯箱のフタ裏面には、岡谷市章と共に「岡谷市制施行庁舎落成記念」とあります。硯箱は670点、文鎮は7520点制作したと記録が残されています。



金属製の灰皿

昭和11(1936)年制作 岡谷蚕糸博物館蔵

金属製の灰皿で、落成したばかりの岡谷市役所庁舎の建物がかたどられたデザインとなっています。昭和11年5月23日に市制施行祝賀式および庁舎落成式が、中央部校庭式場（現在のカノラホールの敷地）で行われました。式典に続いて尾澤福太郎翁の寿像除幕式も挙行され、尾澤家からの記念品として灰皿が参会者に贈られました。

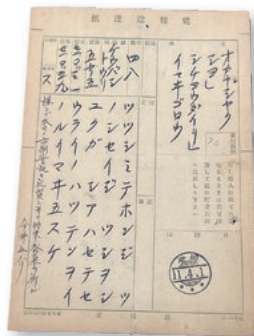


岡谷市制祝賀の電報

昭和11(1936)年制作 岡谷蚕糸博物館蔵

岡谷市制施行を祝い、各地から祝電が届けられました。

各地の市長、町長、行政関係者を始め、今井五介（川岸村出身。初代片倉兼太郎の弟。実業家、政治家として活躍）、武井武雄（平野村西堀出身の童画家）など著名な人々から寄せられています。



岡谷市報のあゆみ

「岡谷市報創刊号」は、昭和21年9月に発行されました。市民に向けて、市の政策や市民生活に関する情報をわかりやすく伝えるための広報紙として、現在まで80年の歴史を刻んできました。「市報おかや」、「広報おかや」と名前を変えながら、月2回発行の時代を経て、現在は1か月に1回発行しています。

昭和20年代は食糧の配給や戦病死広報についても記載があるなど、その時代の時代を映す鏡にもなっています。



創刊号(昭和21年9月)



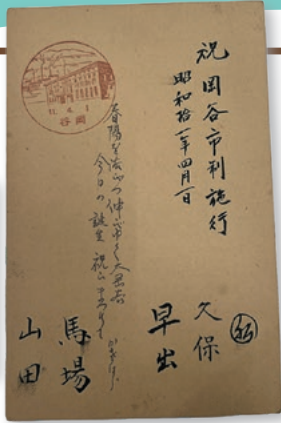
102号(昭和29年12月)
(湊・川岸との合併について)

今回の記念展では、市民のみなさんからお寄せいただきました、市制施行に関する記念品や写真などの個人所蔵の品、当館収蔵品、年表パネル、岡谷市報の周年記念号などを展示しています。
懐かしい写真や当時の品々を通して、未来の岡谷について考えるきっかけにいただければ幸いです。

記念印の押された葉書

昭和11(1936)年制作 個人蔵

葉書の左上に市制施行記念の印が押されています。
逓信省告示第六百二十七号によると、この記念印は「使用局所 岡谷郵便局市制施行祝賀会場内臨時出張所
使用期間 自昭和十一年四月一日 至同年同月三日」とあり、3日間のみ使用された貴重な記念印です。



岡谷市・市制祭 大日本蚕糸大会のポスター

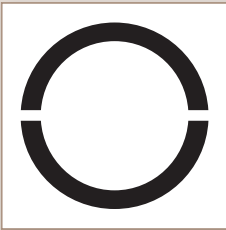
昭和11(1936)年制作 岡谷蚕糸博物館蔵

昭和11年5月23日に市制施行祝賀式が行われ、5月25日には大日本蚕糸会第31回総会が岡谷市を会場に開催されました。大日本蚕糸会総裁の閑院宮殿下が新たに発足したばかりの岡谷市に臨場され、全国各地から参集した蚕糸業関係者は5000名にも達し、総会は盛大に挙行されました。



岡谷市市章の紹介

岡谷市の誕生とともに、市章も新たに制定されました。一般公募により8500通もの応募が寄せられ、昭和11年5月9日、市会協議会で審査の結果、浦和高等学校在学中の奥山益朗氏(当時19歳)が応募した市章が選ばれました。



案意:上半円は岡、下半円は谷を象徴している。
円は協力・円満なる市の発展を表す。

周年記念号

市制施行10年の節目
ごとに記念号を発行
しています。



昭和61年4月



昭和51年4月



昭和41年4月



令和8年4月



平成28年4月



平成18年4月



130号(昭和32年4月)
(長地との合併について)



展示している
市報はこちら
からご覧いた
できます。

問合せ

岡谷蚕糸博物館
TEL 23-3489

岡谷の地名の起源は、平安時代にこの地に存在した「岡屋牧」^{おかやのまき}に由来するとされています。出土した土器や建物跡から時代をたどると、人が住んでいた痕跡は縄文時代にまで遡^{さかのぼ}ることができ、黒曜石などの豊富な資源により豊かな生活を送っていたと推測されます。岡谷市には、このような歴史を読み解くことのできる全国に誇る文化遺産がたくさんあります。市内の代表的な4つの文化遺産を紹介します。

市内の主な遺跡の
地図はこちらから▶



旧林家住宅



住所：〒394-0043 岡谷市御倉町2-20 入館料：大人590円
開館時間：午前9時～午後4時30分(3月～11月)
午前10時～午後3時(12月～2月)
休館日：毎週水曜日、祝日や振替休日の翌日、年末年始
※11月4日～3月31日は土日祝日のみの開館

ココがスゴイ！

● 幻の金唐革紙を当時のまま、イマに残す！

製糸業で発展した岡谷市の隆盛を残す明治時代の貴重な建物。金唐革紙(きんからかわがみ・きんからかわし)といわれる幻の壁紙5種類が、ほぼ当時のままに残っています。洋室ではなく和室の壁紙として使われている例は、全国でも珍しいとされています。

欄間や仏壇の彫刻も見事で、立川流(諏訪大社下社秋宮など建てた宮大工の流派)の彫刻師によりつくられています。

ココがスゴイ！

● この家を建てた初代 林國蔵は優れた実業家！

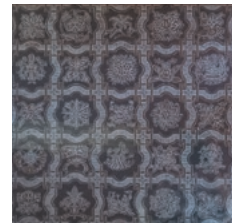
製糸工場の燃料に必要な石炭の鉱山開発や、埼玉県などに製糸工場を建設するほか、東京で火薬などを扱う銃砲店も経営していました。



離れ洋館



主屋上座敷 床の間
「狎潜り(ちんくぐり)」彫刻



金唐革紙
格子に四十八花文

国指定 史跡

梨久保遺跡



がんめんようそうしよくとってつきどき
顔面様装飾把手付土器
サイズ：高さ19.3cm
出土：梨久保遺跡
(長地梨久保)

ココがスゴイ！

● 黒曜石や人が集まる当時の流通センター

岡谷市の代表的な縄文時代の遺跡。縄文時代の狩猟道具の必須アイテムである、矢じり(弓矢の先)などの石器の材料となる黒曜石が集まる流通センターでした。黒曜石と交換するために日本海や太平洋側から人が持ち込んだとされる、当時のジュエリーのコハク・ヒスイなども出土しています。



出土したコハク・ヒスイ製装身具

ココがスゴイ！

● 梨久保という地名のついた土器形式

諏訪地方の中でも明治時代の早い時期から発掘が行われ、出土した土器は「梨久保式土器」と称され縄文時代中期の土器の基準となっています。



梨久保遺跡

特集2

全国に誇る岡谷の文化遺産

国指定 重要文化財

海戸遺跡

顔面把手付深鉢形土器



顔面把手付深鉢形土器

サイズ：高さ43cm
出土：海戸遺跡(天竜町)

ココがスゴイ！

●独特のくびれで、ナイスプロポーション！

多くの土器が樽型で口縁部の少し下がわずかにくびれる土器はありますが、ここまでくびれている縄文土器はあまりありません。

見た目にインパクトがあるので、文化庁などが主催した海外での展示会に6回出品されています。

●数少ない外向きの顔面把手付深鉢形土器！

がんめん とってつきふかばちがたどき

ココがスゴイ！

顔面把手付深鉢形土器は、主に人の顔を表す把手(装飾)が内側を向いているものが多いですが、海戸遺跡の顔面把手部分は全国でも出土数が少ない外向きです。

●顔面把手は女性(女神)を表していると考えられ、土器には子孫繁栄、豊穡の願いが込められている。

女神を表した土器で作られた食べ物を皆で食べるにより、共同体としての意識を高めたと考えられています。

出土時の写真！



海戸遺跡 顔面把手付深鉢形土器 出土のようす
(わかりやすく顔面を上にもむけて撮影)

日本遺産

「星降る中部高地の縄文世界

～数千年を遡る黒曜石と縄文人に出会う旅～」

●104ある「日本遺産」のうち、縄文時代をテーマとしたものは2つだけ！

岡谷市が含まれる日本遺産「星降る中部高地の縄文世界」は、約4000～5000年前の縄文時代中期を中心に栄えた中部高地の縄文文化を伝える物語です。温暖な気候と豊かな自然により多くの人々が暮らし、日本有数の人口を誇る地域でした。5体の国宝土偶のうち2体が茅野市で出土するなど、縄文文化の中心地として知られ、独創的な縄文土器や遺跡は世界的にも高く評価されています。

ココがスゴイ！



花上寺遺跡超小型土偶(実物大)

サイズ：高さ4cm
出土：花上寺遺跡(湊)



岡谷美術考古館に入館すると、人気の「三十三番土偶札所巡り」の御朱印スタンプがもらえる！

日本遺産とは…

地域の歴史や伝統、文化財を一つの「ストーリー」として文化庁が認定する制度です。一つの文化財(遺跡など)だけではなく、点在する有形・無形の文化財群を、歴史や風土に根ざした「ストーリー」としてまとめて認定するもので、文化財を守るだけでなく、観光振興や地域活性化、地域への誇りを育てることも目的としています。



問合せ 生涯学習課 TEL 78-8522